

2025年度 理工学部同窓会連携講座「キャリア形成教育科目（つくるI）」講義概要

- 講義題目：原子力発電所の再稼働 ～宮城・女川町でエネルギーをつくる～
- 講義日時：2025年12月11日（木）17:20～19:00
- 講師：東北電力株式会社 女川原子力発電所 保全部長 長谷川 勝広（ハセガワ かつひろ）
- 講義内容：

(1)東日本大震災の経験

最も震源に近い女川原子力発電所での実務経験から、如何に発電所を安全に停止でき、近隣住民の避難受け入れもできたかについて、設計面での考慮、運用（人、技術力）の考慮およびそれらの背景となる会社理念について説明した。

(2)再稼働までの道のり

女川原子力発電所第2号機は、2025年11月に被災プラントとして初めて14年をかけて再稼働を果たした。世界的にも最も厳しい再稼働上件に対し、設計、運用、工事、検査の一連の対応を以下に実現できたかについて、自らの経験を説明した。

東北電力 HP 原子力関連情報リンク：<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/>

※動画やバーチャル中心のサイトなので気軽にアクセスし閲覧してください。

■ 講義に参加いただいた方々へ

皆さんは今後どのような仕事を選択し経験していくのでしょうか？

- ・仕事をする上では、自身の思いと企業理念の共感がとても大事
- ・一人の力・能力には限界がある。ものづくりには人と組織の成長が不可欠
- ・真剣に取り組むことに決して無駄はない。大事なものは不断の努力
- ・『先人に学び、後世に伝えていく』理念と技術の継承

学生生活（私生活含む）は、社会人として歴史を築いていくための基礎を培う大事な時期です。勉強も私生活も、必ず社会人人生に生きてきます。何事にも真摯に取り組む姿勢・努力を継続して、素晴らしい未来を築いていくことを期待しています。



《講師プロフィール》1995年上智大学理工学部機械工学科（9070）卒業。大学時代は、体育会ラグビー部所属、鳥人間 Sophia Flying Turkeys 立上げメンバー。東北電力株式会社に入社し、女川原子力発電所で発電所設備のメンテナンスを担当。その後、本店原子力部にて新規プラントとなる青森県の東通原子力発電所の設備設計および建設業務の担当など一貫して原子力発電所に係る業務に従事。2011年3月11日の東日本大震災時は、震源に最も近い女川原子力発電所に勤務し、地震と津波が頻発する中、発電所の安全停止および安定維持に従事。その後は、女川原子力発電所の新規規制基準適合のための設計業務および許認可業務を対応し、2024年11月15日にBWRプラント、被災プラントとして初めて再稼働（発電再開）を達成。趣味は麻雀、ゴルフ、庭いじり、etc。